

患者図書室“いきいきの森”だより

別冊太陽「気魄の人 横山大観」

秋といえば、食欲、スポーツ、読書…など色々ありますが、読書の秋と芸術の秋をいっぺんに楽しめる画集はいかがでしょうか？本書は、日本画の大家・横山大観の生涯と作品の数々を、別冊太陽ならではの美しいビジュアルと豊富な資料を

盛り込みながら解説しています。
他には、以前ご紹介した澤岡泰子先生のリトグラフの画集もごさいますので、ご覧下さい。



10月の貸出テーマランキング

1位 がん

『がんを生きるガイド』

『患者さんと家族のための放射線治療』他

2位 脳・神経系

『脳梗塞はこうして防ぐ、治す』

『脳梗塞の予防と最新治療』他

3位 高血圧

『高血圧

(専門医が答える Q&A)』他



図書の紹介

肝臓は体内の臓器で最も大きく、主に「物質の代謝」「解毒」「胆汁の生成」という3つの働きがあります。肝臓は再生能力が高いため、肝臓病になっていてもある程度進行しなければ自覚症状が現れません。今月は“沈黙の臓器”肝臓に関する本をご紹介します。



「図解でわかる肝臓病」 渡辺純夫 / 監修

肝臓病と診断されたとき、真っ先に知りたい診断から治療までを専門医が図解します。ウイルス性肝炎として知られる C 型肝炎は慢性化して肝硬変、さらには肝がんになることもあります。2 週間メソッドで、今日からすぐに始められる食事療法と献立例を紹介します。

『肝炎ウイルス-B型・C型』 熊田博光 / 編

インターフェロン製剤やプロテアーゼ阻害剤の治療効果、副作用の問題、あるいは新たな遺伝子診断の登場など、インフォームドコンセントがますます重視される肝炎ウイルス治療。患者・家族が疾患への理解を深めるために最適の書。

